

# タイムスケジュール

20日(火) @東京山手教会

17:30 18:00 19:30 20:00

受付開始

前夜祭

Fellowship  
タイム

日本全国から来て欲しいので  
代々木オリンピックセンターに  
宿泊を先着300人分  
取っちゃいました!  
朝食付きで一泊3000円!!  
詳細&申込みはホームページ Check it out!

21日(水・祝) @青山学院大学

11:30 12:30 13:00 16:00 17:30

ブース  
open

受付開始

リフォーユース500  
ユースカンファレンス

@ガウチャー記念礼拝堂

Fellowship  
タイム

当日キリスト教関係ブース多数!

## アクセスMAP

□東京山手教会



東京都渋谷区渋谷 4-4-25  
渋谷駅より徒歩5分

□青山学院大学 正門よりお入りください



東京都渋谷区渋谷 4-4-25  
渋谷駅より徒歩10分  
表参道駅より徒歩5分

問い合わせ先:  
日本キリスト教団事務局

所在地:  
〒169-0051  
東京都新宿区  
西早稲田  
2-3-18-31

電話:  
03-3202-0541

主催: 日本キリスト教団

協賛団体:

青山学院大学  
宗教センター



他多数協賛予定

2016年7月14日現在



# リフォーユース500 ユースカンファレンス

宗教改革500周年記念教会青年大会

大会ホームページ&PV



2018年3月21日(水・祝)  
13:00~17:30

会場: 青山学院大学ガウチャー記念礼拝堂

詳細は大会ホームページでも確認できます。 [リフォーユース500](#) [検索](#)

◆主催: 日本キリスト教団◆

## リフォーユース500ユースカンファレンスの大会趣旨

主の御名を賛美します。500年に一度の特別な日がやってきます。この日を宗教改革の源泉に立ち返り、その確固たる恵みに立ち、教派を超えて礼拝を捧げます。青年ユースが集うこの集いで10年後、20年後の日本の教会を見ることができるよう。全国のそれぞれの諸教会、諸キリスト教学校、諸団体が参加する1000人規模の集会として、違いを超えて、協力し、新しいステージへ一緒に進んでいきたいと願っています。日本の教会史に残る大会となることを期待しています。どうぞ、この特別な日に教会の青年ユースをこの大会にお送りください。

日本キリスト教団 宗教改革500周年記念 教会青年大会実行委員会

## リフォーユース500ユースカンファレンス3つの目的

### ミッション500

宗教改革の源泉に立ち返り、主から託されたミッションを確認する。

### エンカレッジ

日本の教会・キリスト教学校に集う青年ユースをちからづける。勇気付ける。

### コネクト

教会次世代である青年ユースを繋げる。交わりを作る。

# mec

Mission500 Encourage Connect



### ■本大会ゲスト紹介



賛美リード  
中山有太郎

沖縄生まれ福岡育ち。イエス・キリスト神の愛教会牧師。拡大宣教学院卒業。中学生の時からワーシップリードを始め、高校生の時から作詞作曲を手掛ける。以降、教会、ライブハウスなど様々な場所でワーシップをリードし、ワーシップリードセミナーなどで用いられる。また、2010年にはPraise Stationから1st Album「心から」を、2012年には2nd Album「希望の歌」を発売。アップテンポの曲から、ラテンやボサノバ、バラード調の曲まで幅広いジャンルのワーシップCDとなっている。2015年より福岡で牧会を始める。妻、息子、娘の4人家族。



メッセンジャー  
大嶋重徳師

1974年京都府生まれ。京都府福知山市出身。田舎ヤンキーばかりのバスケット部に入り、ビーバップハイスクールに憧れて教会から綺麗に離れた中学生時代。16歳の時に洗礼を受けて、今度は綺麗に律法的なクリスチャンに転向。その後はもろもろあって、哀れみの中で信仰を保ち続けている。1997年からキリスト者学生会(KGK)で学生伝道に携わる。神戸改革派神学校卒業。関東地区、北陸地区、沖縄地区、北海道地区でも、KGK主事としても奉仕。現在はキリスト者学生会総主事。16歳の娘と14歳の息子の父親。趣味は料理。著書『若者と生きる教会』(伝道と教会形成研究所)、『おかんとボクの信仰継承』(いのちのことば社)



メッセンジャー  
関野和寛師

1980年東京都生まれ。ルーテル東京教会牧師。青山学院国際政治経済学部卒業後に日本ルーテル神学校に入学、卒業後2006年より現職。キリスト教と教会の垣根を超えることをモットーに教会では牧師カフェなども行う。2013年、牧師仲間と共に牧師ROCKSを結成。その活動はライター通信や国内の各メディアにも取り上げられる。2014年より現職を続けながら香港ルーテル神学校の教会牧会博士課程を受講している。



メッセンジャー  
晴佐久昌英神父

1957年東京生まれ。カトリック信者の両親のもと、教会大好き少年として育つ。少年時代の後半は、多摩地区のカトリック教会の青少年の交流・活動の場であった「多摩ブロック」に積極的に関わる。東村山の彼の自宅は、多くの人々が集う一大拠点となる。上智大学神学部、東京カトリック神学院卒。87年、司祭になる。エッセイ集、詩集、絵本、日めくりカレンダー、説教集、信仰入門書等、著書多数。近著に「福音宣言」「幸いの書」「十字を切る」などがある。



メッセンジャー  
小林克哉師

1971年北海道生まれ。中学3年生の時に教会に通い始め、キリストと出会い洗礼を受ける。高校卒業後、神学校に行く。東京神学大学大学院博士課程前期修了。現在、日本基督教団具平安教会牧師。広島刑務所教誨師。日本基督教団伝道推進室委員。西日本教会青年同盟献身修養会スタッフ。福音主義教会連合常任委員・単なる凡人。



特別  
サトル

メンバーは千代延大介(ボーカル)、森モーリー剛(ギター)。2001年のバンド結成当初から「音楽を通して世の中にもっと愛を！」をテーマに、沖縄から札幌まで年間100本を超えるライブツアーを続けつつ、アメリカ、ブラジルなど海外でのツアーにもチャレンジ。2012年には渋谷公会堂で2000人ワンマンライブを成功させ、2013年からは3年連続ブラジル・マナウス市でおこなわれた「マーチフォー・ジョーザス」に参加し、30万人を超える大観衆の前での演奏を経験。2015年には日本武道館で行われたイベント「セレブレーションオブラブ」に出演。2016年には日比谷野外大音楽堂にてワンマンライブを行い、ゴスペルクワイアとのコラボも実現させ、大成功をおさめる。



100人ゴスペル  
ディレクター  
中山栄嗣

牧師家庭に生まれる。高校卒業後、音楽専門学校に進学しそこで初めてゴスペルに出会い衝撃を受ける。23歳の若さにてゴスペルクワイア New Wings を立ち上げる。わずか3年足らずで、東京での亀淵友香やラニーラッカーとの共演を始め、横浜アリーナ、仙台ゴスペルフェスティバル、国際フェスティバル、大阪公演、宮崎公演、名古屋ツアー、など数々の場所で多くの人に感動を届けている。現在ゴスペルクワイア New Wings、Angelic Shout のディレクターを務めつつ、avex アカデミー福岡校、天神 MTR スタジオ、ゴスペルディレクターとして活動中。

ナイト de ライト

2006年北海道札幌市で結成された希望を歌う4人組キリストチャンロックバンド。2012年1月に『終わらない夢』がコンサドール札幌公式テーマソングに採用され、同曲は「白い恋人」でおなじみの石屋製菓のテレビCMに起用される。同年5月、album『phiction』リリース。メッセージ性の強い楽曲がそろう同CDは、発売8ヶ月で3000枚販売。2013年9月、album『nonXion』発売と同時に全国ツアー。南は沖縄まで、9都市24公演の最長ツアー成功。2014年度は北海道100本ライブを達成。2017年album『SHIFT』を発売、同時にZeppダイバーシティ東京でワンマンライブを行う。明日への希望を、生きる勇気を音楽に乗せて発信中。

前夜祭 PV